

水産業強化支援事業事後評価報告書

		神奈川県		
政策目的		令和元年に発生した台風19号により被災し、機能を停止した冷蔵施設を被災前の保管能力まで復旧させることにより、円滑な漁業活動に資する。		
政策目標		冷蔵施設の保管能力の復旧	整理番号	
事業実施主体		みうら漁業協同組合		
実施地区名		間口地区		
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度	
		平成31年度	令和2年度	
交付金額		10,900,000円		
事業計画の内容		令和元年の台風19号により間口地区の冷蔵施設の冷凍機が被災し、冷蔵庫、貯氷庫等が使用できない状態となった。このため、当該施設の冷凍機を復旧させ、被災前の保管能力まで復旧する。		
評価	成果目標		冷蔵施設の保管能力の復旧	
		現状値	200トン（平成29年度末時点）	
		目標値	200トン（令和2年度末）	
	（1）現状値の説明		令和元年の台風19号により被災する以前の冷蔵施設の保管能力	
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）		令和元年の台風19号により被災し、機能を失った冷蔵施設を被災前の保管能力まで回復させたことにより、漁業活動が再び円滑に行えるようになった	
	（3）資源管理の取組状況等（ハード事業のみ）		みうら漁業協同組合の当該地区では、キンメダイ、アワビ、サバ類、スルメイカ、イセエビを対象とした資源管理計画を策定しており、休漁、操業区域規制、操業時間規制、種苗放流等による取組みを実施している。	
	（4）所見		計画策定時の目標を達成している。	
	（5）評価機関の意見等		被災した冷凍機が復旧され、冷蔵施設の保管能力も被災前と同様の状態になっていることから、計画策定時の目標を達成しているものと考えている。	
今後の改善方向等に関する分析		適切な施設の維持管理を継続することにより、今後も冷蔵施設の安定した稼働が見込まれる。		